



平成22年7.15梅雨前線豪雨

平成22年(2010)7月10～16日

7月10日から16日にかけて本州付近に停滞した梅雨前線は広範囲にわたり局地的な大雨となり、岐阜県、長野県を中心に浸水被害、土砂災害などが発生しました。岐阜県八百津町、白川町では日雨量が観測史上1位を更新する豪雨となりました。

梅雨前線の影響により局地的な大雨が発生、
東海地方では、岐阜県を中心に浸水被害、土砂災害が発生した。

岐阜県内では梅雨前線や低気圧の影響で大雨となり、土砂災害や浸水被害が発生しました。11日から16日にかけて、下呂市、郡上市、高山市などで大雨となり、岐阜県加茂郡八百津町伽藍(カラン)アメダス観測点では日降水量238.5mmの観測開始以来の記録を更新する猛烈な大雨が降りました。

この豪雨によって可児市では可児川が氾らんし浸水被害が発生しました。八百津町では土石流により家屋の全壊、半壊の被害が発生しました。御嵩町では住家被害のほか、国道21号の路肩法面が崩壊するなど交通機関に影響を及ぼしました。また、長野県では飯田市国道152号幹線道路が土砂流出等により寸断し、住民が孤立しました。

河川氾濫による被害状況
(可児市土田)



河川氾濫による被害状況
(可児市土田)

